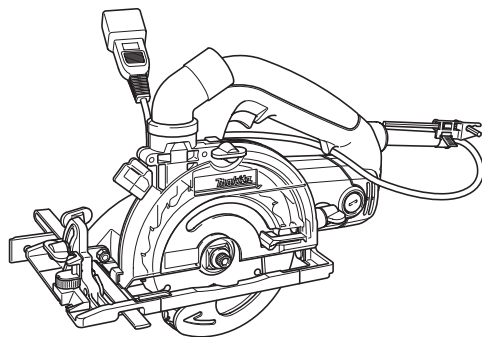


Makita

取扱説明書

125mm 防じんマルノコ

回 モデル **5205FX**
(ブレーキ付)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは125mm 防じんマルノコをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 防じんマルノコ安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ ノコ刃の取り付け・取りはずし方	14
・ ダストカバーの取り付け・取りはずし方	16
・ 切り込み深さの調整	16
・ 傾斜角度の調整	17
・ トップガイド	17
・ トップガイドの位置調整	17
・ 刃先の位置	19
・ 直角切りの微調整	19
・ 集じん機との接続	20
・ スイッチの操作	21
・ ライトの点灯	21
・ 切断方法	22
・ 平行定規の使用法	23
・ 別販売品の使い方	24
・ 集じん機との接続	24
・ 保守・点検について	25
・ レンズカバーの交換	25
・ カーボンブラシの交換	25
・ 本製品のお手入れ	26
・ ご修理の際は	26

主要機能

主要機能	モデル	5205FX
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		7 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		670 W
回転数		5,000 min ⁻¹ (回転 / 分)
使用できるノコ刃の外径		119 ~ 125 mm
最大切り込み深さ		0° : 37 mm / 45° : 25 mm
ノコ刃寸法		外形φ 125 mm × 内径φ 20 mm
本製品寸法		長さ 309 mm × 幅 132 mm × 高さ 225 mm
質量		2.5 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スwitchに異常がないか点検してください。
 - ・ スwitchで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 警告

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

＜異常・故障例＞

 - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深いキズや変形がある。
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、防じんマルノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは絶対に固定したり取りはずしたりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
5. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
 - ・ ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
6. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。また、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。
 - ・ このような台がないと、けがの原因になります。
7. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
8. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
9. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. ジグザグ切断、曲面切り、(ガイドを使わない) 斜め切り、コジリ、側面使用は絶対にしないでください。
 - ・ これらの使用方法ではノコ刃が破損し、大けがの原因になります。
13. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、重手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、機体の振動やノコ刃の振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
5. ブレーキが働くときの反発力に注意してください。
 - ・ 機体を落としたりし、けがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に載せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 切断砥石を使用しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

注

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

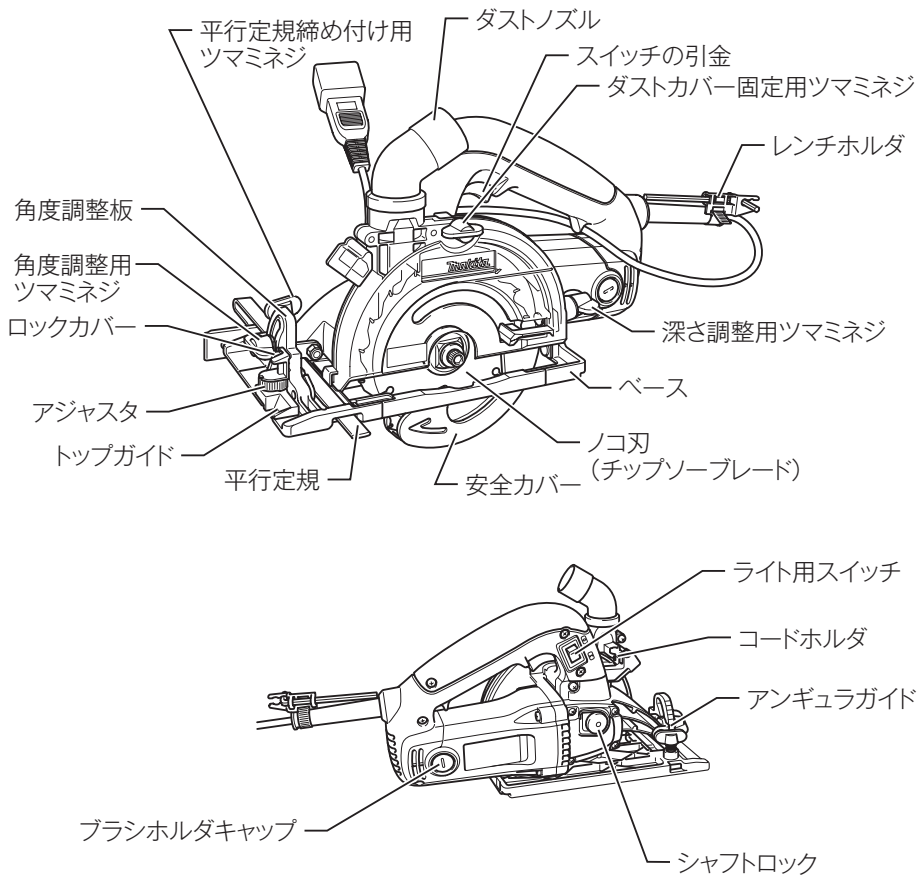
使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 7 A	—
0.75 mm ²	20 m	10 m	—

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
1.25 mm ²	30 m	15 m	10 m
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 六角棒レンチ 5
- ・ チップソー（窯業系サイディング用 部品番号：A-30190）
※チップソー別売のモデルをお買い上げいただいた場合は、別売りにて用意してございます。
- ・ 平行定規
- ・ ツナギコード（5 m）

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ チップソー

部品番号	外径 (mm)	内径 (mm)	刃数	刃先厚 (mm)	用途
A-30190	125	20	18	1.6	一般窯業系サイディング用
A-20270			20	1.7	
A-30215			18	1.6	硬質窯業系サイディング用
A-30209			36	1.5	金属サイディング用
A-40244			40	1.2	石こうボード用

- ・ セフティゴーグル（保護メガネ）
部品番号：191686-2
- ・ 使い捨て式防じんマスク
部品番号：A-36120
- ・ 高性能防じんマスク（溶接用）
部品番号：A-35972
- ・ 防じんマスク（一般粉じん用）
部品番号：A-36887
- ・ ホースφ 28-5 m
部品番号：A-34229
- ・ ホースφ 28-1.5 m
部品番号：A-34235
- ・ レンズカバー
部品番号：418592-9

使い方

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃の着脱は付属の六角棒レンチ以外の工具は使わないでください。

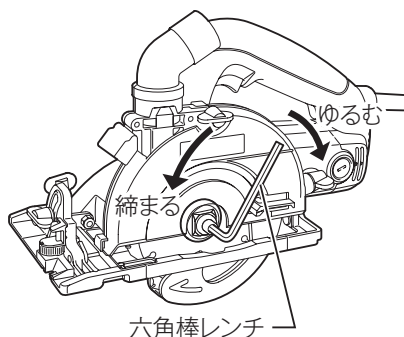
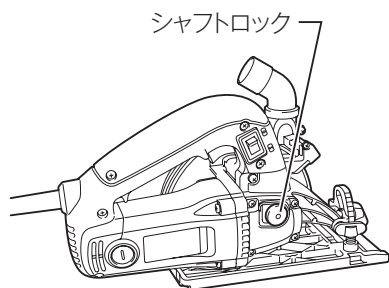
- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

ノコ刃を取り付けるときは、本製品に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

- ・ 矢印に合わせないと、回転方向に対しノコ刃が逆向きとなり、刃先を傷めたり、けがの原因になります。

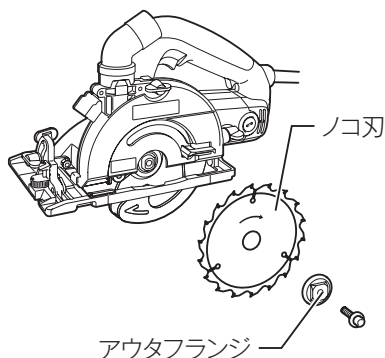
取りはずし方

- ・ ダストカバーをつけたままで取り替えることができます。
- ・ ノコ刃を締め付けている六角穴付ボルトに付属の六角棒レンチを差し込み、シャフトロックを押し込みながら右に回してはずしてください。



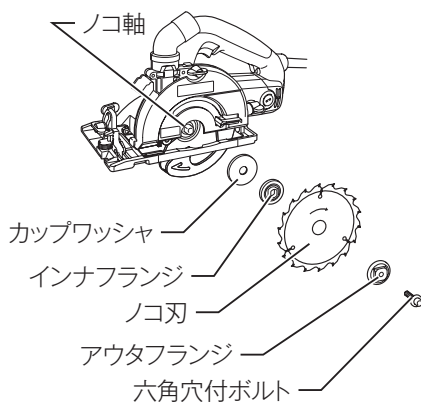
使い方

- ・ アウタフランジを取りはずし、ノコ刃をノコ軸より取りはずしてください。



取り付け方

- ・ ノコ軸にカップワッシャ→インナフランジ→ノコ刃→アウタフランジ→六角穴付ボルトの順に取り付けてください。
- ・ 付属の六角棒レンチで六角穴付ボルトを、取りはずし方の逆の要領でしっかりと締め付けてください。



注

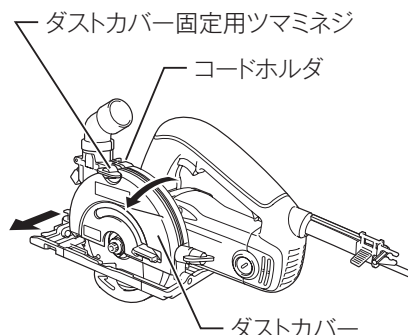
- ・ ノコ軸に取り付いているカップワッシャは防じん用ですので、取りはずさないでください。
- ・ カップワッシャは表裏がありますので凹んでいる面をノコ軸に向けて取り付けてください。

使い方

ダストカバーの取り付け・取りはずし方

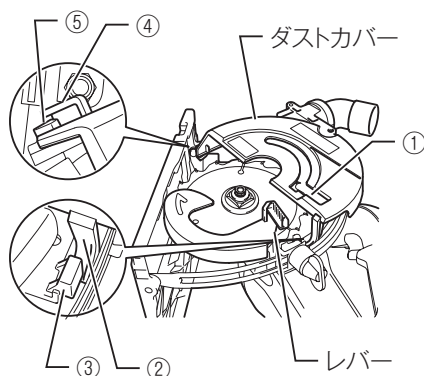
取りはずし方

- ・ キャブタイヤコードをコードホルダから取りはずします。
- ・ ダストカバー固定用ツマミネジをゆるめてダストカバーを斜め上へ引き上げ取りはずします。



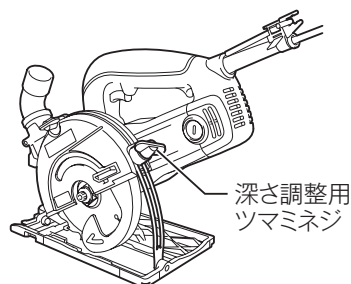
取り付け方

- ・ ダストカバーの抜き穴①にレバーを通しながら、ダストカバー後部のツメ部②をギヤハウジングのツメ部③の下にはめ込みます。
- ・ ダストカバー前部のツメ部④をギヤハウジングのツメ部⑤の下にはめ込みます。
- ・ ダストカバー固定用ツマミネジをしっかりと締め付けます。
- ・ キャブタイヤコードをコードホルダに取り付けます。



切り込み深さの調整

- ・ 深さ調整用ツマミネジをゆるめて、お望みの深さにベースを上下して調整してください。調整後は、深さ調整用ツマミネジをしっかりと締め付けてください。



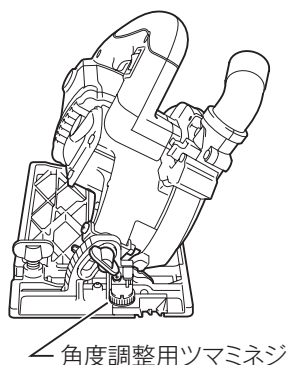
注

- ・ 材料が薄いときは、切り込み深さを浅くしてお使いください。

使い方

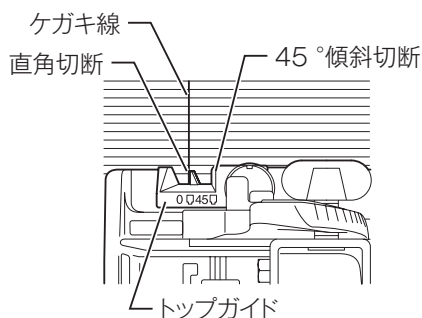
傾斜角度の調整

- ・ 角度調整用ツマミネジをゆるめて、お望みの角度（0 ～ 45 度）に本製品を傾けてください。調整後は、角度調整用ツマミネジをしっかりと締め付けてください。



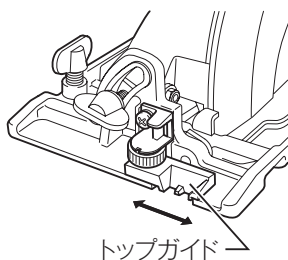
トップガイド

- ・ 直角に切断するときは、トップガイドの 0° の刻印のある方にケガキ線を合わせてください。
- ・ 45° の傾斜切断をするときは、トップガイドの 45° の刻印のある方にケガキ線を合わせてください。



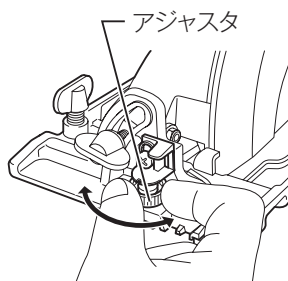
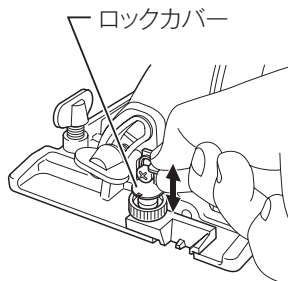
トップガイドの位置調整

- ・ トップガイドは左右に位置調整ができます。次のように調整してください。



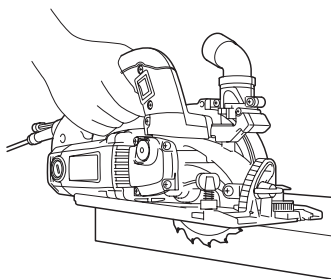
使い方

- ・ ロックカバーを上に戻します。
- ・ アジャスタを回してトップガイドの位置を調整します。アジャスタを左に回すとダストカバー側に、右に回すとハンドル側にトップガイドが動きます。
- ・ ロックカバーを下げて固定してください。



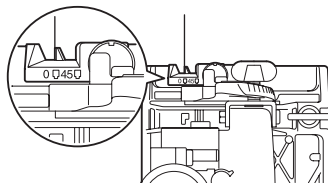
注

- ・ ロックカバーを下けたまま、アジャスタを回さないでください。故障の原因となります。
- ・ アジャスタを必要以上に回さないでください。故障の原因となります。
- ・ 使い終わったら掃除してください。そのまま放置すると正常な動きを妨げる恐れがあります。
- ・ 直角に切断する場合は、次のように行くと簡単にトップガイドとケガキ線との位置を調整することができます。
- ・ 本製品の傾斜を 0° にします。
- ・ テーブル、水準器などのまっすぐな側面にノコ刃の左側面をあてます。



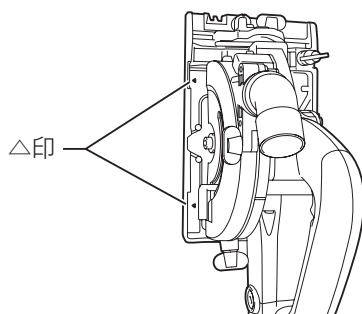
使い方

- ・ トップガイドの0°の刻印のある方をテーブル、水準器などの側面に合わせます。
- ・ 定規を利用して材料をまっすぐに切断し、材料の切断面を利用して同様の方法で合わせることもできます。



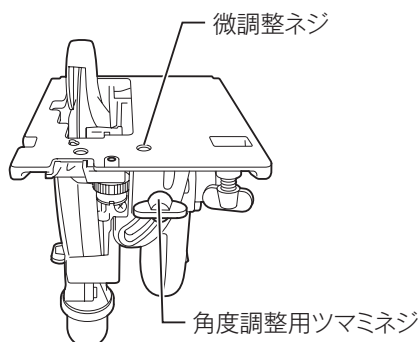
刃先の位置

- ・ ベースに付いている△印は、最大切り込み時の刃先の位置を示します。切り始め、切り終わりの刃先の位置が確認でき、材料を途中まで切断するときなどに便利です。



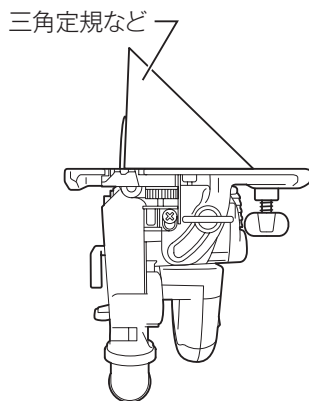
直角切りの微調整

- ・ 本製品はノコ刃とベースの角度を正確に90度にできるように、微調整ができます。出荷時には90度になるよう調整してありますが、万一、微調整ネジが動いて角度が狂っているようでしたら、次のように調整してください。

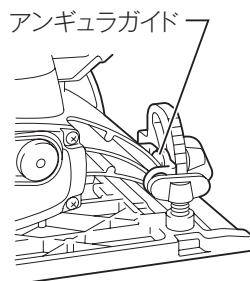


使い方

- ・ 角度調整用ツマミネジをゆるめます。次にノコ刃とベースの底面に三角定規などを当て、直角になったところでツマミネジをしっかりと締め付けてください。

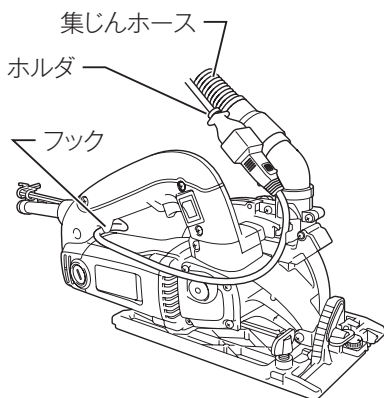


- ・ 微調整ネジを回し、ネジの先端がアンギュラガイドに当たった所で止めてください。
- ・ 再度ノコ刃とベースの底面に三角定規などを当て、直角になっていることを確認してください。



集じん機との接続

- ・ 本製品集じん口に当社集じん機を接続して使用いただきますと衛生的に作業をすることができます。
- ・ 図のようにホルダ（別販売品）を利用すると、延長コードを集じん機ホースに沿わせた状態で作業することができます。尚、集じん機用ホース取付部のダストノズルは、回転しますので、お好みの位置に調整して使用してください。
- ・ 各種集じん機との接続方法は24ページを参照してください。



注

- ・ フックからキャブタイヤコードを無理にはずすと、キャブタイヤコードを傷める場合があります。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スwitchを入れたまま電源プラグを差し込むと、急に回りだし事故の原因になります。

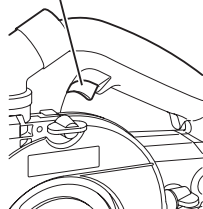
⚠ 注意

本製品はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかると反発力が発生しますので、本製品をしっかり保持してください。

- ・ 本製品を落としたりして、けがの原因になります。

- ・ スwitchは引金を引くと入り、放すと切れます。

スイッチの引金



本製品には下記のような特性があり、扱い易くなっています。

- ・ ソフトスタート

スイッチの引金を引いた時、反動を抑えスムーズに回転しはじめます。

ライトの点灯

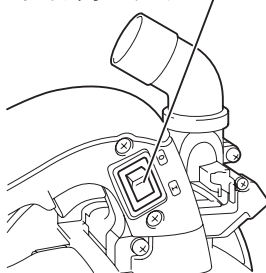
⚠ 注意

ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。

- ・ ライトの光が連続して目に当たると、目をいためる原因になります。

- ・ ハンドル部上部のライト用スイッチの「I」(ON) 側を押すと点灯し、「O」(OFF) 側を押すと消灯します。

ライト用スイッチ



使い方

注

- ・ ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などで拭き取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、照度低下の原因になります。
- ・ ライトレンズ掃除の際はガソリン、シンナーなどで拭かないでください。レンズを傷めます。

切断方法

⚠ 警告

切断中に本製品をこじたり強く押し過ぎたりしないでください。

- ・ モータに無理がかかるばかりでなく本製品自体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

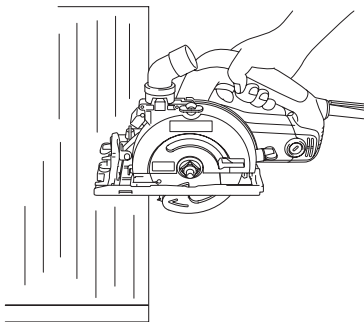
ダイヤモンドホイールを使用するときは、ダイヤモンドホイールにヒビ割れなどの異常がないことを確認してください。

- ・ 異常があると、ダイヤモンドホイールが破壊し、けがの原因になります。

水をかけて使用しないでください。

- ・ 本製品内に水が侵入し、感電の恐れがあります。

- ・ 材料の上にベースをのせ、ノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、ベースを材料に密着させ、ケガキ線に合わせてください。
- ・ 本製品をしっかり保持し、ノコ刃の回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方へ進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。



注

ダイヤモンドホイールを使用されるときは、次の点にご注意ください。

- ・ ダイヤモンドホイールの切れ味が悪くなったときは、ブロックや使用済みの WA 砥石など組織の粗い材料を切断し、ドレッシング（目出し）をしてください。

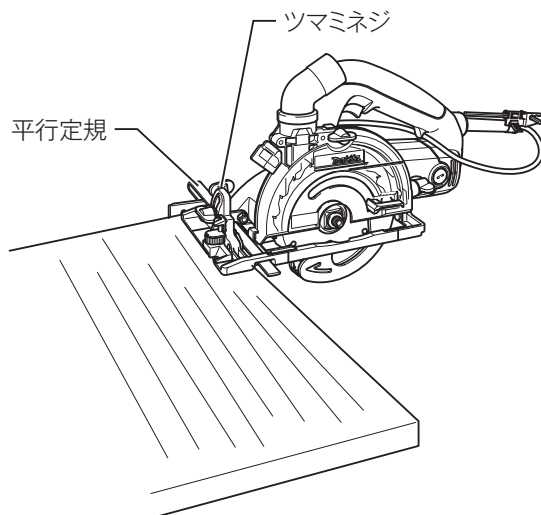
金属サイディングを切断するときは、次の点にご注意ください。

- ・ 金属側を下側にして切断してください。上側にすると表面のバリが大きくなります。
- ・ 切り落とし側の幅を 20 mm 以上とるようにしてください。20 mm 以下ですと表面のまくれが大きくなります。

使い方

平行定規の使用方法

- ・ 平行定規は一定の幅で繰り返し切断したいときに使用してください。
- ・ 平行定規を取り付けるときは、ベースの前部にある定規取り付け口に定規を差し込み、定規の側面を材料の側面にピッタリと付けて、ツマミネジでしっかり締め付けてください。

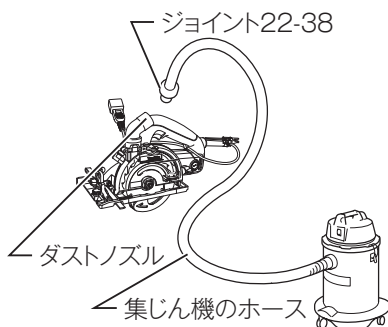


別販売品の使い方

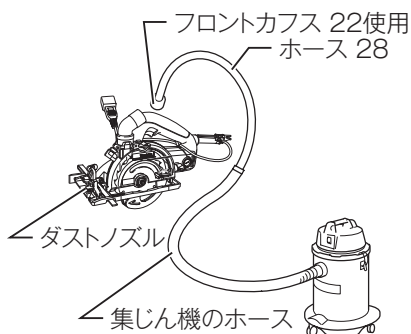
集じん機との接続

フロア用集じん機（モデル 431、436X は除く）の場合

- ・ 集じん機付属のホースにジョイント 22-38（別販売品）を取り付け、本製品のダストノズルに差し込んでご使用ください。



- ・ ホースを延長して接続する場合は、集じん機付属のホースにホース 28（別販売品）を延長し、本製品のダストノズルに差し込んでご使用ください。

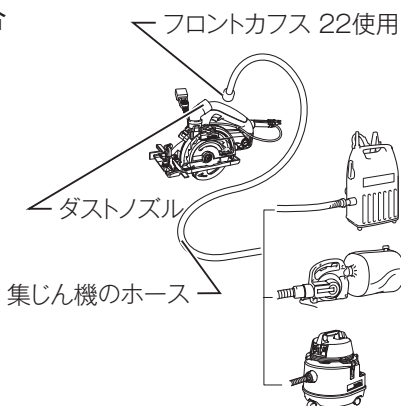


注

- ・ ホース 28（別販売品）には工具接続用にフロントカフス 22 と 38 を同梱しています。工具の集じん口サイズに合ったカフスを取り付けてご使用ください。
- ・ 旧モデル 431 との接続にはジョイント 25（別販売品）をお求めください。

携帯用集じん機およびモデル 436X の場合

- ・ 集じん機付属のホース 28 の $\phi 22$ 側を直接ダストノズルに差し込んでご使用ください。



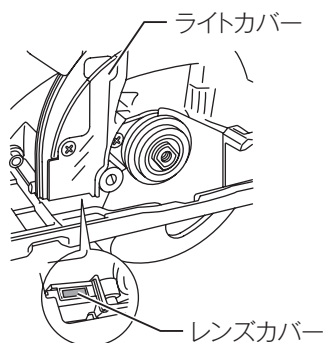
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

レンズカバーの交換

- ・ レンズカバーの表面が傷つくと、ライトの照度低下の原因となります。定期的に点検・交換してください。
- ・ ダストカバーとノコ刃を取りはずします。
- ・ レンズカバーを剥がします。
- ・ 新しいレンズカバーのシールを剥がして、本製品のライト部形状に合わせて貼り付けてください。



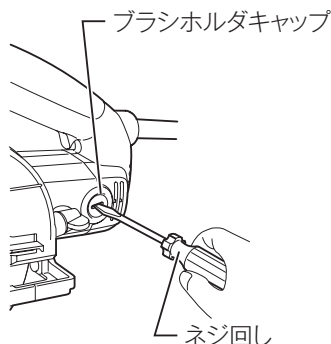
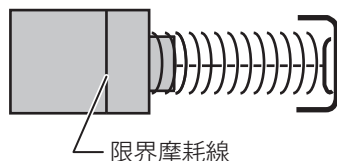
カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



注

- ・ 新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

882153E5
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）